

SAPPORO

「大友堀編」

文化財散歩

きつぽろ

【発行】

札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会（事務局：札幌市市民文化局文化財課）
札幌市中央区北1条西2丁目札幌時計台ビル10階 電話 011-211-2312

令和3年3月



令和2年度文化庁
文化資源活用事業費補助金
（観光拠点整備事業）



大友堀編ストーリー

札幌の都市軸となった 慶応2年のインフラ「大友堀」

— 亀太郎の精神と「札幌黄」の隆盛

札幌の開発は、明治2年（1869年）に開拓判官・島義勇が札幌本府建設に着手した時が始まりと思われがちですが、そうではありません。島が札幌の南北軸とした「大友堀」は、慶応2年（1866年）に、箱館奉行の直営農場のための用排水路として大友亀太郎によって開鑿されたもの。幕末のインフラは、後に札幌産タマネギ「札幌黄」の生産にもつながりました。「大友堀」の痕跡をたどると、古河川の水脈が見えてくるとともに、数々の文化財や古刹、札幌村郷土記念館で昔の札幌に出合えます。

二宮金次郎の弟子がつくった 大友堀

「大友堀」の名は、幕府の役人だった大友亀太郎に由来し、後世の人がそう呼ぶようになりました。亀太郎は二宮尊徳の門下生で、報徳仕法と呼ばれた農村復興政策を学び、蝦夷地に渡ります。そして箱館奉行から直営農場である御手作場をつくることを命じられ、慶応2年（1866年）、現在の札幌市東区を適地とし、用排水路の開鑿に着手しました。これは豊平川の分流を水源として、南3条付近から北6条へ北上し、そこから東北方向に伸ばしてフシコサツホロ川に合流させるというもので、約4kmに及ぶ工事は「百万両の大工事」と称されました。

明治2年（1869年）、開拓判官・島義勇が札

幌本府の建設に着手した際、そこには既に幕府の遺産である「大友堀」が存在していたのです。その後、「大友堀」は物資輸送の舟運ルートとしても大きな役割を果たします。



大友亀太郎



大友堀と見られる写真(北海道大学附属図書館所蔵)

札幌は碁盤の目に区画され、大友堀は創成川へ

島の後任の岩村通俊判官は東西に走る後志通（現・大通）の広い緑地帯を基線にして、北を官庁街、南を商店・住宅街とし、「大友堀」によって街を東西に分けました。そして60間四方を一区画とする碁盤の目が、札幌の基盤となります。

幕末から開発が始まり、御手作場が設けられた地域は札幌村、元村と呼ばれました。その地割は今も残っており、家並みや地図に御手作場の痕跡を見ることができます。また、北6条からかつて御手作場の役宅のあった札幌村郷土記念館までは、碁盤の目の札幌では珍しい斜めの道が走っています。

明治3年（1870年）、「大友堀」の北6条から北の旧琴似川の合流点に「寺尾堀」が、「大友堀」の南3条から南6条に「吉田堀」が開鑿されて「大友堀」は南北に延伸されました。明治4年（1871年）、「大友堀」にかかる橋を岩村が創成橋と名づけたことで明治7年（1874年）、「大友堀」は創成川となりました。

明治4年及5年札幌市街之図
(北海道大学附属図書館所蔵)

創成川

知ってる？



住宅街に残る大友堀の痕跡

大友堀は大半が埋め立てられましたが、一部が創成川として残るほか、東区には北11条東11丁目の区画に斜めの通りがあるなど所々に大友堀の跡と思われる通りが残っています。住宅街に残る大友堀の痕跡、古地図を片手に散策してみたいかがでしょうか。



大友堀の痕跡と見られる斜めの通り

世界に輸出されていた札幌産玉ねぎ「札幌黄」

農家の人々は、お雇い外国人ブルックスの指導を受けながらタマネギ栽培に努力し、明治13年(1880年)頃、札幌村では西洋野菜のタマネギ栽培に成功しました。「札幌黄」という品種のタマネギは、炭鉱や船積み食料として重宝され、ロシアへも盛んに輸出されました。

人々が収穫に感謝して丘珠神社に奉納した獅子舞は、今も札幌市無形文化財第一号の丘珠獅子舞としてしっかりと受け継がれています。

御手作場や札幌黄に関する資料が展示されている札幌村郷土記念館、亀太郎ゆかりの妙見堂を擁する本龍寺、道内最大の山門を擁する大覚寺などが点在するななめ通り周辺。それは幕末から開発が始まっていた札幌の開拓期の名残りを追体験できる場所に他なりません。



札幌黄



東区にある妙見山 本龍寺(妙見堂)

【ストーリーに関連する文化財】

文化財の名称	指定等の状況	所在地
大友堀跡	さっぽろ・ふるさと文化百選(遺跡)No.59	中央区・東区北13条東16丁目大友公園内
札幌村郷土記念館	指定なし	東区北13条東16丁目2-6
創成橋	さっぽろ・ふるさと文化百選(街並)No.85	中央区南1条西1～東1丁目
創成川	さっぽろ・ふるさと文化百選(街並)No.85	中央区 北区 東区
創成川公園	指定なし	中央区南4条～北1条西1丁目
大友亀太郎像(創成川公園内)	指定なし	中央区南1条西1丁目
大友亀太郎像(札幌村郷土記念館前庭)	指定なし	東区北13条東16丁目2-6
札幌黄	指定なし	主に東区
札幌玉葱記念碑	指定なし	東区
丘珠獅子舞	市指定無形文化財	東区丘珠神社に奉納
札幌村・大友亀太郎関係歴史資料及び史跡	市指定有形文化財、市指定史跡	東区北13条東16丁目2-6 札幌村郷土記念館内
妙見山 本龍寺(妙見堂)	さっぽろ・ふるさと文化百選(建物)No.34	東区北14条東15丁目42
大覚寺	さっぽろ・ふるさと文化百選(街並)No.89	東区北10条東11丁目2-10
大友公園	指定なし	東区北13条東16丁目
元村街道(ななめ通り)	さっぽろ・ふるさと文化百選(街並)No.89	東区北7～10条東3～11丁目
林檎の碑	指定なし	東区北11条東12-15
札幌村神社	指定なし	東区北16条東14丁目3-1

※上記一覧には、公開されていないものもあります。

※大友亀太郎の事績と貴重な都市歴史遺産である現地遺構は、「大友亀太郎の事績と大友堀遺構」の名称で、北海道遺産に選定されています。

知ってる？



札幌村から海外へー世界へ輸出された札幌黄

お雇い外国人ブルックスの指導を受けて、明治13年(1880年)頃、札幌村では西洋野菜のタマネギ栽培に成功しました。その後「札幌黄」という品種のタマネギは、本州だけでなくロシアや東南アジアなどへ盛んに輸出されました。札幌村郷土記念館にはロシア訪問の際のパスポートが展示されており、当時の札幌村の人たちの熱い思いが伝わってきます。



当時のパスポート

